

マイアミ通りまちづくりNews vol.1_2024.6.18

■ 昨年の社会実験「マイアミフェスタ」を経て、「マイアミ通りまちづくり協議会」が設立されました！



第 1 回マイアミ通りまちづくり協議会

- 日時 2024年5月21日（火）18:00～19:30
- 場所 鹿児島市役所 東別館1102会議室
- プログラム
 1. 協議会の設立について
 2. 自己紹介
 3. 渡和由先生ご講演「プレイスメイキングの考え方を取り入れたまちづくり」
 4. 質疑・意見交換
 5. 今後の進め方

R5.11.26 マイアミフェスタの実施

地元の方々との連携により、歩道空間に出店や休憩スペースなどを設置する社会実験「マイアミフェスタ」を実施。市民の反応や回遊性の向上などを確認しました。



R6.4.23 意見交換会の開催

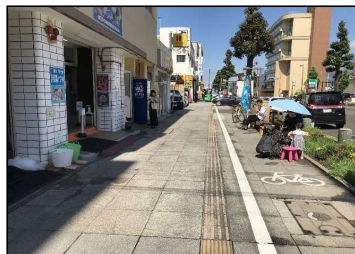
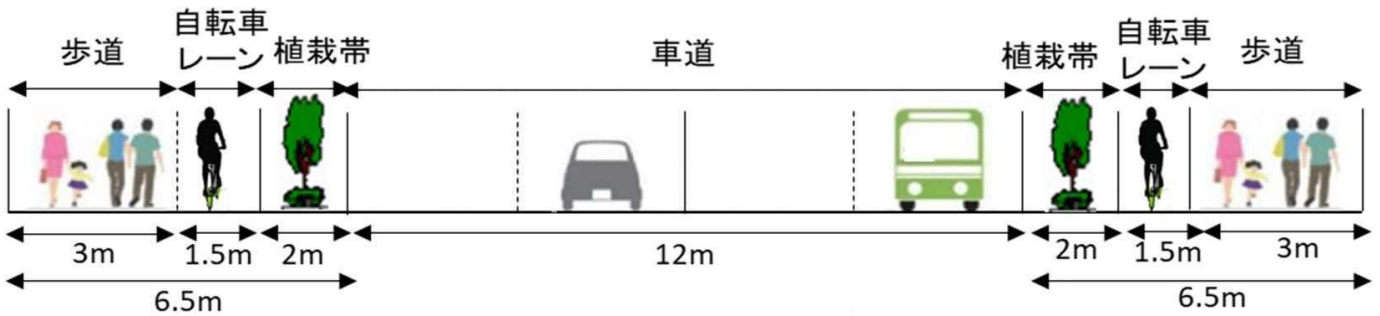
歩いて楽しめるまちづくり推進事業や社会実験の結果などを説明し、新たな協議会の設立について呼びかけました。県からも、本港区のまちづくりについて情報提供がありました。

R6.5.21 まちづくり協議会の設立

沿道地権者や周辺の店舗・住民の方々を会員となり、マイアミ通りの歩道改修やマイアミフェスタの継続実施などについて、市と共に話し合い、取り組む組織として、「マイアミ通りまちづくり協議会」を設立。

渡和由先生（筑波大学大学院非常勤講師、法政大学デザイン工学研究科兼任講師）の講演では、「プレイスメイキング」の考え方や、国内外の事例を多数紹介いただき、活発な意見交換が行われました。

■ マイアミ通りの歩道改修後の活用イメージ



出店事例(マイアミフェスタ)

マイアミ通りとは・・・いづろ交差点からドルフィンポート跡地までの約350mの区間です。

■ 渡先生からのアドバイス 10選

—マイアミ通りを居心地のよいストリートにしていかに—



- ① プレイスメイキングは**即興的、変幻自在な居場所作り**の考え方。一過性のイベントやにぎわい作りが目的ではない。
- ② 環境資源やスキマ空間を活用して、**心地よさと楽しさを目指す場所と枠組をつくる**。
- ③ 道路空間の活用の場合、**8つの場要素***の中でも特に**陰り場（日陰）**の作り方が重要。
- ④ マイアミ通りには**活動に使えるようなスキマ空間があるので、整備前に少しずつ実験的な取り組みをしていくとよい**。
- ⑤ 沿道建物の**軒先など、道路との境目のスキマ空間に「居場所セット」（イス・テーブルなど）を配置する**事例もある。
- ⑥ 活動は皆で合意するまで突き詰めないで、**無理をせず、一人でもできること・やってみたいことから始める**ことが重要。
- ⑦ **関わる人を増やす**ことも必要。**使い方を発想して本気でトライする人たちがたくさん集まると、スピード感・パワーが増す**。
- ⑧ **イス・テーブルなどは、使っているシーンが見られるようになると段々と使われるようになる**。
- ⑨ 座りたくなる、使いたくなるためには**デザインも重要**で、例えばイスは背面・座面が木製で折り畳み式がおすすめ。
- ⑩ 可動式の**イス・テーブルなどを保管する倉庫は、出来るだけ使う場所の近くに設置**することが望ましい。
- ⑪ そこで過ごしたくなる**良い眺めとは小さな花壇など、そこにあるものが「借景」になる**。大きなものでなくて良い。



* 8つの場要素とは・・・飲食、ひと休みなど、具体的に「～したくなる」、居心地のよい空間づくりのために必要となる要素

▼ 出典 UR都市機構HP (<https://www.ur-net.go.jp/aboutus/action/placemaking/machiindex.html>) より引用

■ 8つの場要素の組合せ

基本：座り場＋複数の場を用意（8つの場要素を組み合わせて人の居場所をつくる）

陰り場
座り場の上から快適に囲む木陰、軒先、天蓋等

眺め場
座り場から見える景色に気を使う

話し場/離し場
話したくなる座り場等
距離感の調整できる椅子等

囲い場
座り場の周りを快適に囲む低植栽、塀、椅子の背等

座り場
人が居られる座面の設置
椅子、縁側、敷物等

巡り場
案内図などにより空間内の複数の場を巡ることを誘導

灯り場
夜の座り場、食場を照らし人の気配を感じさせる

食場
座り場にテーブルと食事の提供があるとより長く滞留

出典：渡座長提供
イラスト：大竹英理那氏

35

■ 参加者の感想・意見 —当日のアンケートより—

稼ぐ力のある歩道、先進的、未来的、実験的なストリートに挑戦してみたい。

面白い事例を聞けて、面白いアイデアが生まれそう！

できないことを探すのではなく
今から、今でも、出来ることから
まずは「始める」協議会になると良い。

定着するまでの協力関係づくりが大切

住民と行政の動きは共に大事

道路上の風景を変えると人が多くなるのでは。

沿道地権者に参加してもらい納得を得ることも大切

鹿児島島の降灰とアウトドアをどう解決するか？

ポテンシャルを残しつつ、屋外空間を活用できていないのは、降灰と平均気温の高さが原因ではないか。

第4回協議会（8月下旬以降予定）で、渡先生からご回答・解説していただきます！



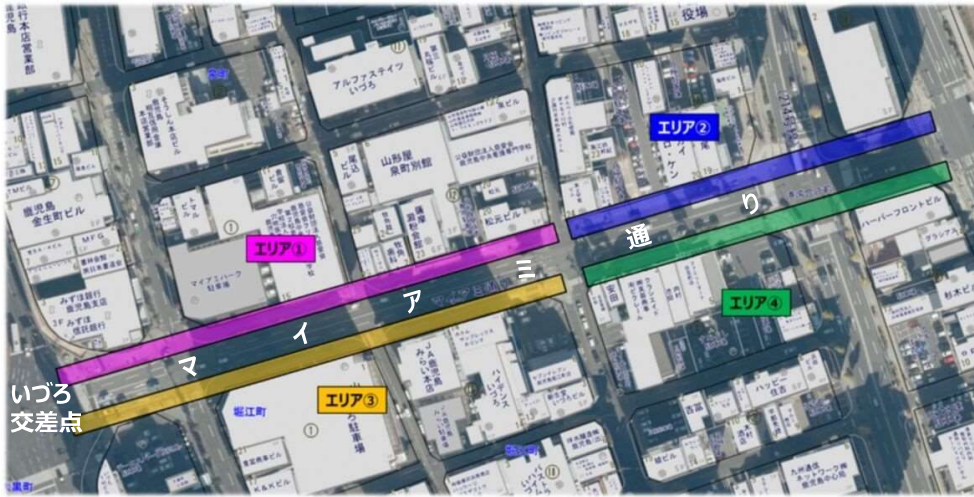
■「マイアミ通りまちづくり協議会」で現地調査を実施！



第2回マイアミ通りまちづくり協議会

- 日時 2024年6月18日（火）18:00～19:30
- 場所 トマルビル 地下1階
- プログラム
 1. 前回の振り返り
 2. 会長・副会長の選任
 3. **現地調査**
 4. 調査結果のまとめ・共有
 5. ヒアリングの進め方・アンケート記入

マイアミ通りを歩道改修（リニューアル）し、より良い空間にしていくための検討の第1弾として、歩道で「使えるようなプレイス」（候補地）を抽出することを目的に、以下の4つのエリアに分かれて現地調査を行いました。



地元の企業・住民の皆さんのほか、鹿児島大学工学部建築学科の小山 雄資准教授と学生・院生も参加。第1回協議会の渡和由先生（筑波大学大学院非常勤講師、法政大学デザイン工学研究科兼任講師）の講演で学んだ**プレイスメイキングの考え方、特に「8つの場要素」**（まちづくりNews vol.1参照）を参考に、**実際に歩道を使ってみることを楽しくイメージしながら、様々なアイデアを出し合いました。**

当日皆さんに発表いただいた内容などを【歩道空間利活用マップ】として地図上にまとめ、第3回以降の協議会で検討を深め、更新を重ねていきます。今後、鹿児島市が作成する基本計画や基本設計に反映していく見通しです。



▲左から順に、エリア①～④の現地調査の様子。空気イスに座っていつもと違う目線で景色を眺めたり、歩道＋沿道敷地を一体的に使えるようなプレイスも発掘しました。



▲現地調査後、各エリアで見つけたプレイスを発表。日陰の作り方や照明のデザインなど、通り全体に共通する意見も出ました。

■参加者の感想・意見 —当日のアンケートより—

いつも歩いていてわかっていて思っていた場所も
皆さんと意見を交わしながら現地調査でき、
新たな発見・視点を得られとても良かった

マイアミ通りを散歩するのが好き！
桜島の景観、天文館から歩くときのワクワク感が
たくさんの方に伝わりますように！

自由にアイデアを言うことで、
いつもと違う視点に立てて面白かった

内容が濃い分、
時間が足りなかった

花壇のスペースが広いので
もっとコンパクトにすると、
その分を活用できるのでは

色々な提案や学生さんの意見等、
多くの発見があり有意義だった

もっと話したかった！

夜の景観も把握できれば
新たな考えも生まれるのでは

■イベントへの参加意向 —当日のアンケートより—

※複数選択可

- 出店したい：6件
- 企画に関わりたい（昨年の「イベント住民協議会」のイメージ）：7件
- 特に関わりたいと思わない（歩道改修の検討の話題のみに参加したい）：2件



▲R5.11.26
社会実験「マイアミフェスタ」の出店例

今後の協議会で
歩道空間の利活用（イベント）の検討も進めていきます。

■地権者ヒアリングの実施

第2回協議会以降、7月下旬にかけて、沿道の地権者9件を訪問。
歩道利活用についてご意向を伺ったところ、「協議会に参加したい」、「利活用に協力したい」、
「イベントがあれば出店したい」など、前向きなご意見をいただきました。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



協議会は今年度、月1回程度開催する予定です。ご参加を希望される方は事務局までご連絡ください。

■マイアミ通りの「歩道利活用マップ」をもとに、歩道改修に向けた検討を本格化！



第3回マイアミ通りまちづくり協議会

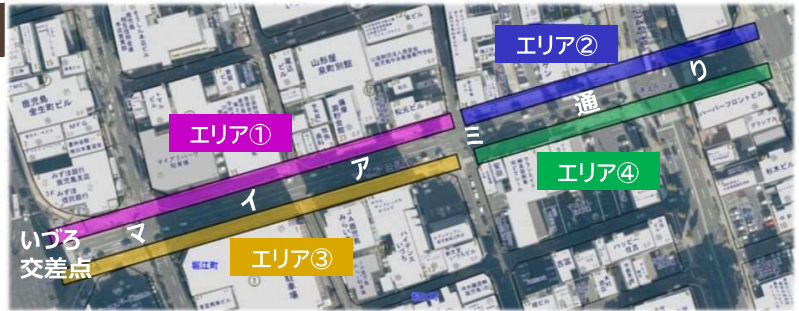
- 日時 2024年7月30日（火）18:00～19:50
- 場所 カフェむにみい
- プログラム
 1. 前回の振り返り・歩道利活用マップの共有
 2. 歩道改修に関する検討の深堀
 3. **マイアミフェスタの検討**
 4. 本港区懇談会について（情報共有）
 5. アンケート記入

第2回協議会で実施した現地調査と、地権者ヒアリングの結果をもとに事務局が作成した「歩道利活用マップ」を配布し、以下の4つのエリアごとに歩道改修に関する検討の深堀を行いました。

検討の手順

マップ上の「使えそうなプレイス」（候補地）を対象に、
①②の視点で個人ワーク
⇒グループごとに話し合い ⇒全体共有・意見交換

- ①誰がどんな使い方をしているか？（イメージをふくらませる）
- ②そのためには何が必要か？（施設）



主なアイデア〈一部抜粋〉

候補地	①誰がどんな使い方をしているか？	②何が必要か？
エリア①	いづろ交差点	地元の人や観光客等が信号待ちの時に電車を眺めたり、写真撮影
	フラワーベンチ 花壇	地元の人や観光客等が日陰で休憩、待合せ＋屋根の部分の上で眺めることもできる
エリア②	かき氷屋周辺の 花壇	かき氷を食べに来た客（夏季）や本港区イベント参加者がキッチンカー・屋台で飲食や買い物
	車道側	通行人や車からも「マイアミ通り」であることがひと目で分かる
エリア③	いづろ交差点	地元の人や観光客が信号待ちの時に一休みしたり、近隣ワーカーがランチや飲み物を買って、交流が生まれる
	山形屋駐車場前 ベンチ・フェンス	通行人、ベンチで休憩する人がアート作品などの展示を眺めたり、写真撮影
エリア④	本港区に面する 交差点	本港区イベント参加者、クルーズ船観光客が天文館に向かう前にポケットパークで一休みしたり、写真撮影
	ファミリーマート前	通行人や車利用者がひと休みしたり、コンビニ客が買ったものをその場で飲食

小山 雄資先生（鹿児島大学工学部建築学科）からの講評

- 1) 4つの班の話し合いや発表を聞いて、共通して「変化」がキーワードになっていると感じた。
 - ・日陰は動き、気温は季節や時間帯によって変化するので、日陰の作り方にも工夫がいる。
 - ・可動式ファニチャーは上記の変化に対応できる。
 - 自分たちで簡易に調整できるようなものだといふ（陰り場は仮設的なものでよいかもしれない）。
 - ・約350mの長さのストリートに沿って歩いたときに、人の目の高さで見えてくるものにも何か変化があると楽しめる。
 - ・日常使いの視点と観光の視点とで、ファニチャーのあり方も変わってくる。
- 2) 今日は各プレイス（点）の検討段階だが、
今後はそれらを結びつけて通り全体（線）としてのまとまりもイメージしていけたらよいと思う。





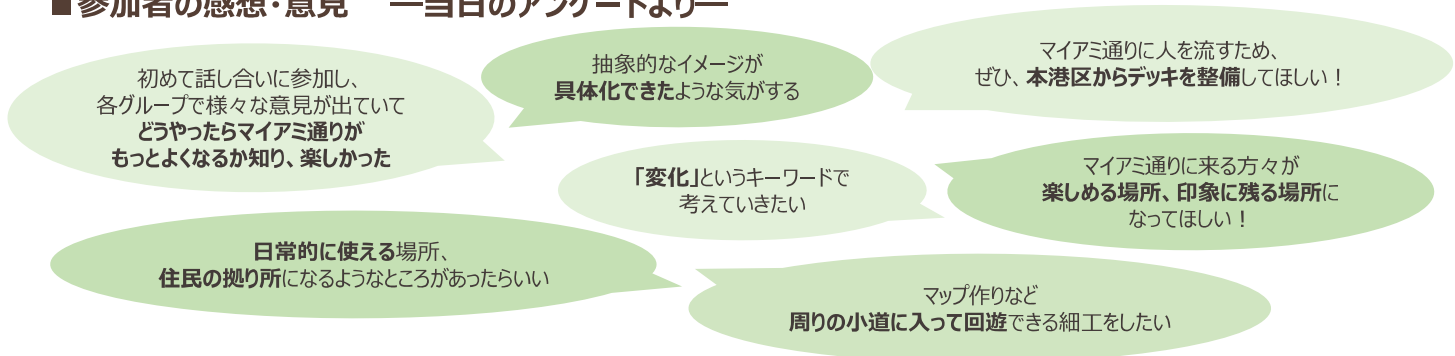
■マイアミフェスタの検討

昨年11月に市主催の社会実験として開催した「マイアミフェスタ」について、
今年はまだづくり協議会が主体となり、歩道利活用イベントを検討・実施します。
いつ頃、どんなことをやってみたいか、アイデアを出し合いました。

時期	利活用の仕方・やりたいこと
<ul style="list-style-type: none"> ○本港区のイベントと同時開催 <ul style="list-style-type: none"> ・オーガニックフェスタ 11/23～24 @ウォーターフロントパーク ・木下大サーカス 12/21～3/10 @ドルフィンポート跡地 ○春・秋（気候が良い時期） 	<ul style="list-style-type: none"> ○マイアミ通り+a 周辺まで歩いてもらう仕掛け（他エリアとのチケット連携など） ○沿道で場所を確保し、場所貸しする（人手不足でも対応できる） ○青空美術展 ○ミニガーデンの設置 ○将来的には夏に歩行者天国にしてビアガーデン

11月下旬のオーガニックフェスタ等、**本港区のイベントと同時開催する方向で検討を進めます。**

■参加者の感想・意見 ー当日のアンケートよりー



■本港区懇談会について（情報共有）

「鹿児島港本港区エリアまちづくり懇談会」の概要〈県HPより〉

- 目的
「年間365日、賑わう拠点」の形成、鹿児島港本港区エリアコンセプトプランの具体化に向けて、関係者が連携する場としての懇談会を設置し、施設整備やイベント開催などのまちづくりの取組を進めるための情報共有や意見交換を行う。
- 構成員
鹿児島県旅客船協会、鹿児島港運協会、特定非営利活動法人ゆめみなと鹿児島、鹿児島商工会議所、（一社）鹿児島市商店街連盟、鹿児島市、鹿児島県
- 事務局 鹿児島県土木部本港区まちづくり推進室
- 5月17日に第1回懇談会開催（2024年度は5回程度開催予定）

本港区開発とマイアミ通りのまちづくり検討の連携が必要であることから、
「マイアミ通りまちづくり協議会」も構成員として加わり、8月27日に開催される第2回懇談会から出席することになりました。

協議会は今年度、月1回程度開催する予定です。ご参加を希望される方は事務局までご連絡ください。